



既知の問題

このリリースで未解決のバグおよび解決済みのバグには、[Cisco バグ検索ツール](#) を使用してアクセスできます。



(注) Cisco Bug Search Tool にログインしてこのツールを使用するには、Cisco.com アカウントが必要です。アカウントがない場合は、[アカウントを登録](#)できます。

Cisco Bug Search Tool の詳細については、[Bug Search Tool \(BST\) ヘルプ](#)および[FAQ](#)を参照してください。

- [Cisco UCS B シリーズ M5 6.0\(1.260012\) サーバファームウェア リリースで既知の問題：なし \(2 ページ\)](#)
- [Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0\(2.260040\)、XE シリーズ M8 6.0\(2.260042\)、C シリーズ M8、M7、M6 6.0\(2.260044\)、および B シリーズ M6 6.0\(2.260040\) サーバファームウェア リリースの既知の問題 \(2 ページ\)](#)
- [XE シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0\(1.260001\) の既知の問題：なし \(4 ページ\)](#)
- [Cisco UCS C シリーズ サーバ M8 ファームウェア リリース 6.0\(1.250194\) の既知の問題：なし \(4 ページ\)](#)
- [Cisco UCS X シリーズ M8 6.0\(1.252114\)、M7、M6 6.0\(1.250179\)、B シリーズ M6、M5 6.0\(1.250169\)、および C シリーズ M8、M7、M6 6.0\(1.250192\) サーバファームウェア リリースで既知の問題：なし \(4 ページ\)](#)
- [XE シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0\(1.251030\) の既知の問題 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0\(1.250162\)、M6、B シリーズ M6、M5 6.0\(1.250157\) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0\(1.250174\) サーバファームウェア リリースで既知の問題：なし \(5 ページ\)](#)
- [Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0\(1.250122\)、B シリーズ M6、M5 6.0\(1.250127\) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0\(1.250131\) サーバファームウェア リリースの既知の問題：なし \(5 ページ\)](#)
- [Cisco UCS C シリーズ M8、M7 および M6 6.0\(1.250127\) サーバファームウェア リリースの既知の問題 \(6 ページ\)](#)

Cisco UCS B シリーズ M5 6.0(1.260012) サーバ ファームウェア リリースで既知の問題：なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0(2.260040)、XE シリーズ M8 6.0(2.260042)、C シリーズ M8、M7、M6 6.0(2.260044)、および B シリーズ M6 6.0(2.260040) サーバ ファームウェア リリースの既知の問題

ここでは、解決済みの問題について簡単に説明します。

不具合 ID	説明	影響を受ける最初のバージョン	リリースで解決済み
CSCwr72707	2 台以上の Kioxia E3.S CD8P 1.9 T NVMe ドライブを搭載した Cisco UCS C220 M8、C240 M8 では、同時テスト中にランダム ワークロードのパフォーマンスが大幅に低下します。具体的には、4K ランダム読み取りパフォーマンスは、同時動作中に、ドライブあたり 1,600kIOPS の定格からドライブあたり約 680k の入出力処理数/秒 (IOPS) に低下する可能性があります。単一ドライブのテストは期待されるパフォーマンスを満たし、問題は複数ドライブのセットアップでのみ発生することを示しています	このパフォーマンスのボトルネックを解決するには、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) のブート設定で、次の Intel が推奨するカーネルチューニング パラメータを適用します。 • シングルドライブ構成の場合：RHEL カーネル コマンドラインに次を追加します： <pre>intel_pstate=disable pci=pcie_perfmon pci=pcie_bus_safe</pre> • マルチドライブ（完全装着）構成の場合：RHEL カーネル コマンドラインに次を追加します： <pre>intel_pstate=disable pci=pcie_perfmon pci=pcie_bus_safe nrml.poll_queues=32 intel_iommu=on</pre>	X シリーズ：6.0(2.260040) XE シリーズ：6.0(2.260042) C シリーズ：6.0(2.260044) B シリーズ：6.0(2.260040)

XE シリーズ M8 サーバ ファームウェア リリース 6.0(1.260001) の既知の問題：なし

Cisco UCS C シリーズ サーバ M8 ファームウェア リリース 6.0(1.250194) の既知の問題：なし

Cisco UCS X シリーズ M8 6.0(1.252114)、M7、M6 6.0(1.250179)、B シリーズ M6、M5 6.0(1.250169)、および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250192) サーバ ファームウェア リリースで既知の問題：なし

XE シリーズ M8 サーバ ファームウェア リリース 6.0(1.251030) の既知の問題

このセクションでは、既知の問題について簡単に説明します。

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCws25068	Unified Edge サーバーにカーネルバージョン 6.8.0-71 の Ubuntu 24.04.3 をインストールすると、統合ネットワークカード (ICE ドライバ) が検出されず、ネットワーク設定と接続が妨げられます。この問題は、カーネル 6.8.0-71 がこのプラットフォームの NIC の ICE ドライバをサポートしていないために発生します。	1. Ubuntu Node リリース ページ から GA ISO をダウンロードし、ブート可能 USB またはリモート対応メディアを使用してインストールします。 2. Ubuntu Security Pool から必要な 6.8.0-80 カーネル パッケージ (.deb ファイル) をダウンロードします。 3. すべての .deb ファイル (linux-image、linux-headers、linux-modules、linux-modules-Extra、linux-tools) をフォルダに配置し、genisoimage や mkisofs などのツールを使用して ISO を作成します。 4. Ubuntu のインストール後に、サーバーに ISO をマウントします。 5. dpkg -i X.deb を使用してカーネル パッケージをインストールします。 6. サーバーを再起動し、カーネルバージョンが 6.8.0 ~ 80 であることを確認します。 統合ネットワークカードが検出され、設定に使用できるようになります。	6.0(1.251030)

Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.250162)、M6、B シリーズ M6、M56.0(1.250157) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250174) サーバーファームウェアリリースで既知の問題：なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250122)、B シリーズ M6、M56.0(1.250127) および C シリーズ M8、M7、M6

6.0(1.250131)サーバファームウェアリリースの既知の問題：なし

Cisco UCS C シリーズ M8、M7 および M6 6.0(1.250127)サーバファームウェアリリースの既知の問題

このセクションでは、既知の問題について簡単に説明します。

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwn95239	Cisco UCS サーバでは、BIOS の破損が原因でサーバの電源がオンになりません。次のメッセージが表示されます。「電源投入失敗がアサート済み（電源投入失敗、サーバの電源投入失敗）」 この問題は、次のシナリオで特に BIOS の更新操作が中断された場合に発生する可能性があります： • BIOS フラッシュまたは更新の中断（例：更新中の強制的な電源の再投入）。 • BIOS 更新中の CMOS クリア操作の開始。 • BIOS 更新中の工場出荷時デフォルトへの復元。 • BIOS 更新中の Cisco IMC のリブート。 • BIOS の更新プロセスを中断させるその他の予期しない操作の実行。	次のいずれかを実行します。 • CIMC をリブートします。同様に、BIOS のアクティブ化であるリカバリメカニズムが開始されます。 • バックアップ BIOS の Activate。 • BIOS を更新し、アクティブ化します。	4.3(6.250039)

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwe68248	HUU 4.3(3.240xxx) レベルのファームウェアを実行し、2つの PCIe VIC と 1 つの MLOM VIC を持つ Cisco UCS C220M7 および C240 M7 サーバで、サーバファームウェアを HUU 4.3(4.xxxxxx) または 4.3(5.xxxxxx) または 4.3(Redfish API インターフェイスを使用して 6.xxxxx) 以降のレベルで実行した場合、UCSUpdate タスクは CiscoCard モードが設定されている PCIe VIC (riser1) の誤った更新失敗を報告します。ただし、ファームウェアはバックグラウンドで正常に更新およびアクティブ化されます。 (注) 言及されている HUU バージョン番号の「xxxx」は、シリーズ内で利用可能なすべてのバージョンを表します。	回避策はありません。誤った障害の更新を無視します。	4.3(3.240043)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。